

**【施策全体について】**

## ○ 地域ごとに異なる施策の推進

- ・ 追浜地区、北下浦地区など地区ごとに満足度が異なるアンケート結果から、横須賀市全市で同じ施策を打っても、各地域での満足度が上がらない可能性がある。
- ・ 例えば教育は、地区により家庭で子育てにとっての「重要事項」が異なるように見える。追浜地区（湘南鷹取の住民の方、追浜地区センターでの活動者など）は英語などもそれなりにできる母親も多く、図書館などによく行かれていて読書機会も多いように見受けられる。
- ・ そのような親の個性もあるので、子どもに対する教育やサポートへの要望も異なると思う。全市で同じ支援をしても、満足度は同じにはならないと思う。

**【プログラム1 1-1「子どもを産み育てやすいまちづくり」関係】**

## ○産婦人科の充足状況

- ・ 知人で出産を控えている人たちがいるが、いずれの母親からも産婦人科を探すにあたって苦労したという声はなかった。5年ほど前は、「出産難民」が妊婦さんの間で話題となっていたが、現在はそのような困った話は一言も聞かないので、産婦人科の課題はクリアされたように思う。

**【プログラム1 1-2「人間性豊かな子どもの育成」関係】**

## ○中学での英語教育の習熟度別クラス分け

- ・ 中学校の英語の授業の進捗状況がとても遅く、伸びる生徒も足踏み状態になっていると見受けられる。せっかく小学校でのネイティブによる授業が他都市よりも多くあり、他英語にふれる下地があるのにもったいない。
- ・ 意識のある子は中学校に入学して英語の勉強に意欲的であるにもかかわらず、意欲に欠ける子ども（英語のみならず、学習に対して意欲に欠ける子はどこにでもいるので仕方がないが）とのバランスのため、とても授業が遅く、そのため中学校卒業時の英語の学習能力が、他都市に追いつかれ追い抜かされているように見受けられる。
- ・ 中学校で、意欲のある子ども向けにクラス分けをすることを考えてもらえると、他都市よりも英語能力が伸びる子どもがたくさんでてくると思う。クラス分けをした方が、先生も授業がしやすいのではないかな。

- ・例えば、現在、中学校の英語の教科書のうち、どの中学校でも「リーディング」の追加ページの授業をしないで済ませている。單元ごとの追加の参考ページをとばしている。
- ・意欲的な子どものクラスは、それらをこなし、それ以外のクラスは今までどおりの授業の進め方をすればよいのではないか。先生の負担はないと思う。

## ○サマースクールなどへのパソコンの導入

- ・既に取り組みがあるかもしれないが、小学生のサマースクールなど（学校ごとや教育委員会で取り上げているものもあると思う）にパソコンなど、時代を反映したものを組み入れてもらえると、参加する子どもも増えるのではないか。パソコンの指導は、定年退職したシニア世代でボランティアサークルなどをお願いしてはどうか。

## 【プログラム4 4-2「集客や定住を促す魅力的な都市環境づくり」関係】

### ○「3世代で輝く横須賀」…二世帯同居の促進

- ・横須賀は横浜、東京に比べ同居率が高く、同居がしやすい環境が整っている。他都市と比較したメリットとして同居促進政策を考え、横須賀在住者のみならず、他都市からの親子で定住促進を目指してはどうか。
- ・そのために、住宅の検討のみならず、同居のノウハウを前もって提示して、「同居」プロジェクトを作り、全方向からバックアップしてはどうか。  
→例えば、間取りのカウンセリング、同居を成功させるための心構えなど（例「見ざる、聞かざる、言わざる」方針が大切などの細かいアドバイス）、ハード面・ソフト面からバックアップして、同居のための定住促進策を進める。
- ・既に他都市で進めているか？もし、他に例がなければ、一番乗り。（→成功の秘訣）
- ・親世代は、子どもに同居してもらおうことを喜ぶ方が多いと思うが、その際に「子どもが主役になれるまち」「英語教育が盛ん」は説得力になるはずである。

#### \*既存の多世代同居推進施策

##### ①市内結婚・子育て世代の親世代へのプロモーション

…コミュニティ紙などへの記事広告掲載 [都市イメージ創造発信事業]

##### ②2世帯住宅リフォーム助成

…子ども夫婦を転入させるために、自宅を2世帯住宅にリフォームする場合、リフォーム費用を助成 [2世帯住宅リフォーム助成事業]